

国 語

科目名	単位数	学科	学年
現代文B	2単位	普通科	2年

教科書	標準現代文B (第一学習社)	副教材	最新国語便覧 (浜島書店)
-----	----------------	-----	---------------

科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	自己を見つめる わたしはあなただったかもしれない 小説を読む (一) 調律師のるみ子さん 新しい発見 新しい地球観 詩を味わう そこにひとつの席が 永訣の朝 言語活動 創作の楽しみ・短歌と俳句	・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえる。 ・論理的な文章について、自分の考えを表現する。
2 学 期	言語活動 創作の楽しみ・短歌と俳句 言葉と生活 情けは人の・・・ 小説を読む (二) 相棒 人間と文化 コミュニケーションの文化 小説を読む (三) 鼻	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語彙を豊かにし、自分の文章に役立てる。
3 学 期	人間と文化 名所絵はがきの東西 小説を読む (三) こころ 実用の文章 注連縄一つつましく ノーベル賞 vs イグ・ノーベル賞	・文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現について話合う。

学習のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 知らない言葉は辞書を引いて調べ、自分の言葉として使えるようにしよう。 各ジャンルの文章を繰り返し音読し、正確に読めるようにしよう。 文章の要点を読み取り、要旨をまとめることができるようにしよう。 自分の考えていることを文章や言葉で正確に表現できるようにしよう。
---------	---

備考	
----	--

評価の観点	関心・意欲・態度	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもととしている。
	話す・聞く能力	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしようとしている。
	書く能力	文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現や推敲に役立てている。
	読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図を捉えたりしている。
	知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 <input type="radio"/> 課題提出 (課題への取組状況の確認) <input type="radio"/> 授業態度 (真面目な態度、積極的な取組)
------	---

国 語

科目名	単位数	学科	学年
古典A	2単位	普通科	2年

教科書	古典文学選古典A (教育出版)	副教材	最新国語便覧 (浜島書店)
-----	-----------------	-----	---------------

科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	歌物語 伊勢物語 随筆 方丈記 逸話 先従隗始 古典の窓 (古文編)	・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構成を理解する。 ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。
2 学 期	軍記物語 平家物語 歴史物語 大鏡 史記 四面楚歌 古典の窓 (漢文編)	・古典を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語彙を豊かにし、自分の文章に役立てる。
3 学 期	源氏物語 光源氏と紫の上 三国志 諸葛孔明 詩文 桃花源記	・文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現について話し合う。
学習の ポイント	1 本文をノートに書き写し、自分で口語訳をしよう。 2 すらすら音読できるよう、何度も読む練習をしよう。 3 古典に関する知識や語彙を増やそう。 4 作品を通して当時の人々の考え方や感じ方に触れ、視野を広げよう。	
備考		

評価の 観点	関心・意欲・態度	国語に興味を持ち、言語生活を豊かにしようとして努力している。また、各ジャンル、各時代の作品に親しみ、理解しようとして努力している。				
	話す・聞く能力	自分の意見を筋道立てて、より効果的に発表できる。また、人の意見を聞きながら、自分との共通点や相違点などをまとめることができる。				
	書く能力	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。				
	読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図を捉えたりしている。				
	知識・理解	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。				
定期 考 査 実 施 予 定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題提出 (課題への取組状況の確認) ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な取組)					

国 語

科目名	単位数	学科	学年
古典B	3単位	普通科	2年

教科書	標準古典B (第一学習社)	副教材	最新国語便覧 (浜島書店)
-----	---------------	-----	---------------

科目の目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	説話 古今著聞集 故事・寓話 朝三暮四 物語 (一) 竹取物語 古代の史話 背水の陣 随筆 (一) 徒然草 漢詩の鑑賞 絶句／峨眉山月歌／送夏目漱石之伊予 随筆 (一) 方丈記	・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構成を理解する。 ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わう。 ・文法の基礎を確認する。
2 学 期	和歌 万葉集／古今和歌集／新古今和歌集 不思議な世界 枕中記 随筆 (二) 枕草子 項羽と劉邦 鴻門之会／四面楚歌	・古典を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。
3 学 期	日記 更級日記 物語 平家物語 諸家の思想 論語／孟子／老子／荘子／韓非子	・文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現について話し合う。
学習 の ポ イ ン ト	1 予習は本文をノートに書き写し、語句調べ、書き下し文、現代語訳をしよう。 2 すらすら音読できるよう、何度も読む練習をしよう。 3 毎週1回の古典単語テストに真剣に取り組み、語彙を増やそう。 4 教材を通して当時の人々の考え方や感じ方に触れ、視野を広げよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	国語に興味を持ち、言語生活を豊かにしようとして努力している。また、各ジャンル、各時代の作品に親しみ、理解しようとして努力している。				
	話す・聞く能力	自分の意見を筋道立てて、より効果的に発表できる。また、人の意見を聞きながら、自分との共通点や相違点などをまとめることができる。				
	書く能力	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。				
	読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、作者の意図を捉えたりしている。				
	知識・理解	相手や目的に応じた題材を選び、文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。				
定期 考 査 実 施 予 定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評 価 方 法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題提出 (課題への取組状況の確認) ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な取組)					

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
世界史A	2単位	普通科	2年

教科書	世界の歴史世界史A (山川出版社)	副教材	
-----	-------------------	-----	--

科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	序 人類の歴史の始まり 第1部 世界の一体化と日本 第1章 世界の諸文明 第2章 世界の一体化の始まり	・地域世界の形成と発展・特徴を理解する。 ・地球規模で世界が一体化していく過程と日本の関わりについて理解する。
2 学期	第3章 近代の世界 第2部 地球社会と日本 第1章 現代の始まりと帝国主義 第2章 二つの世界大戦	・近現代世界の特質を理解する。 ・二つの世界大戦がもたらしたものについて理解する。
3 学期	第3章 平和と冷戦 第4章 現代世界と日本	・20世紀後半の世界と日本の課題について学ぶ。
学習のポイント	1 教科書をしっかり読むとともに、史料や図版等にも注意しよう。 2 ゴシック体の単語をただ単に暗記するのではなく、歴史の流れの中で理解できるようにしよう。 3 歴史的用語、人名は漢字で書けるようにしよう。 4 テレビや本で歴史的なものに注意しておき、率先して見たり読んだりしよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート・プリントの点検などを総合的に評価する。
	思考・判断・表現	定期考査や長期休業中の課題を通して、歴史的事項の説明やその事象に至る歴史的過程を表記させ、それを評価する。
	技能	授業中の発表内容や長期休業中の課題等で表現力やまとめ方を評価する。
	知識・理解	定期考査で基本的事項の理解を評価する。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (一問一答テスト・復習テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
日本史B	2単位	普通科・I類型	2年

教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	副教材	新詳日本史 (浜島書店)
-----	-------------------	-----	--------------

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成	・原始古代における文化の特徴を理解する。 ・国家の形成と諸制度の整備を世界史的視野から考察する。
2 学 期	第3章 貴族政治と国風文化 第2部 中 世 第4章 中世社会の成立 第5章 武家社会の成長	・古代から中世への展開を通して政治の変遷と民衆の成長を中心に歴史の流れを理解する。
3 学 期	第3部 近 世 第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開	・江戸幕府の成立と幕藩体制の展開を様々な角度から考察する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 教科書をしっかり読むとともに、史料や図版等にも注意しよう。 2 ゴシック体の単語をただ単に暗記するのではなく、歴史の流れの中で理解するようにしよう。 3 歴史的用語、人名は漢字で書けるようにしよう。 4 テレビや本で歴史的なものに注意しておき、率先して見たり読んだりしよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート・プリントの点検などを総合的に評価する。				
	思考・判断・表現	定期考査や長期休業中の課題を通して、歴史的事項やその事象に至る歴史的過程を説明させ、評価する。				
	技能	授業中の発表内容や長期休業中の課題等で表現力を評価する。				
	知識・理解	定期考査や小テストで基本的事項の理解を評価する。				
定 期 考 査 実 施 予 定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業態度 (まじめな態度、発表内容) ○課題提出 (長期休業中の課題など) ○定期考査 (計画的な学習計画と成果)					

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
日本史B	2単位	普通科・Ⅱ類型	2年

教科書	新選日本史B (東京書籍)	副教材	新詳日本史 (浜島書店)
-----	---------------	-----	--------------

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1 原始社会の生活と文化 2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 3 律令国家の形成と古代文化の展開	・古代国家がどのように形成されていったのか理解する。
2 学期	4 摂関政治と文化の和様化 第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1 中世社会の成立	・貴族社会の変化と武士が勢力をのばしていく過程について理解する。
3 学期	2 武家社会の形成と東アジア	・武士がどのような社会を形成していくか理解する。

学習のポイント	1 教科書をしっかり読むとともに、史料や図版等にも注意すること。 2 ゴシック体の単語をただ単に暗記するのではなく、歴史の流れの中で理解すること。 3 歴史的用語、人名は漢字で書けるようにすること。 4 テレビや本で歴史的なものに注意しておき、率先して見たり読んだりしよう。
---------	--

備考	
----	--

評価の観点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート・プリントの点検などを総合的に評価する。
	思考・判断	定期考査や長期休業中の課題を通して、歴史的事項の説明やその事象に至る歴史的過程を表記させ、それを評価する。
	資料活用の技能・表現	授業中の発表内容や長期休業中の課題等で表現力やまとめ方を評価する。
	知識・理解	定期考査で基本的事項の理解を評価する。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (一問一答テスト・復習テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
地理B	2単位	普通科・I類型	2年

教科書	新詳地理B (帝国書院)	副教材	新詳高等地図(帝国書院) 最新地理図表(第一学習社)
-----	--------------	-----	-------------------------------

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国際社会に生きる日本人としての自覚を強める。 ○ 地理的思考力を養い、データや資料を読み解く力を身に付ける。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	さまざまな地図と地理的技能 1 地理情報と地図 2 地図の活用と地域調査 現代世界の系統地理的考察 1 自然環境 (世界の地形・気候)	<ul style="list-style-type: none"> ・地図の種類や用途を理解して、特に地形図の読図・活用法を身につける。 ・世界の大地形の形成や種々の地形の特質、各気候区の成因・特徴を学ぶ。
2 学期	現代世界の系統地理的考察 1 自然環境 (世界の気候) 2 資源と産業 (農林水産業と食料問題) 3 // (エネルギー・鉱産資源)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の農牧業の特質や水産業の現況を理解する。 ・地下資源の利用と分布や動向を考察する。
3 学期	4 資源と産業 (資源・エネルギー問題) 5 // (世界の工業) 6 // (第3次産業)	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー問題の動向を精査し考察する。 ・世界の工業の発達・立地や現状・課題を考察する。
学習のポイント	1 学習プリントはきちんと書き込み、積極的にメモ書きをしよう。 2 家庭学習では、教科書・資料によく目を通して、学習の復習をしよう。 3 地名などは地図帳を利用して、しっかりその位置を確認しよう。 4 社会の動きに注目し、学習内容と世界の動向とを結びつけて考えよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、学習プリントや課題の点検などを行い、総合的に評価する。				
	思考・判断	定期考査を通して、地理的事項の説明やその事象に至る過程を説明させ、それを評価する。				
	資料活用の技能・表現	授業中の学習プリントの作成状況や発表内容、さらに長期休業中の課題等で表現力を評価する。				
	知識・理解	授業中の発表内容や、定期考査で基本的事項の理解を評価する。				
定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評価方法	定期考査、学習プリント提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○学習プリント提出 (授業中の取り組みや家庭での復習状況) ○授業態度 (まじめな態度、発表内容) ○課題提出 (ワーク作業や長期休業中の課題など) ○定期考査 (考査範囲の適切かつ計画的な学習成果)					

地理歴史

科目名	単位数	学科	学年
地理B	2単位	普通科・Ⅱ類型	2年

教科書	新詳地理B (帝国書院)	副教材	新詳高等地図(帝国書院) 最新地理図表(第一学習社)
-----	--------------	-----	-------------------------------

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、国際社会に生きる日本人としての自覚を強める。 ○ 地理的思考力を養い、データや資料を読み解く力を身に付ける。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	さまざまな地図と地理的技能 1 地理情報と地図 2 地図の活用と地域調査 現代世界の系統地理的考察 1 自然環境 (世界の地形・気候)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図の種類や用途を理解して、特に地形図の読図・活用法を身につける。 ・ 世界の大地形の形成や種々の地形の特質、各気候区の成因・特徴を学ぶ。
2 学期	現代世界の系統地理的考察 2 資源と産業 (農林水産業と食料問題) 3 " (エネルギー・鉱産資源) 4 " (世界の工業) 5 " (第3次産業) 6 " (交通と通信)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の農牧業の特質や水産業の現況を理解する。 ・ 地下資源の利用と分布や動向を考察する。 ・ 世界の工業の発達・立地や現状・課題を考察する。 ・ 観光・交通・通信の発達や現況を考察する。
3 学期	現代世界の系統地理的考察 7 " (世界の貿易と経済圏) 8 人口、村落・都市 (世界の人口と人口問題) 9 " (村落・都市とその問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貿易の形態や経済的結合体の実情を把握する。 ・ 人口の分布・動態や問題、集落の立地や発達・機能の特徴を考察する。
学習の ポイント	1 学習プリントはきちんと書き込み、積極的にメモ書きをしよう。 2 家庭学習では、教科書・資料によく目を通して、学習の復習をしよう。 3 地名などは地図帳を利用して、しっかりその位置を確認しよう。 4 社会の動きに注目し、学習内容と世界の動向とを結びつけて考えよう。	
備考		

評価の 観点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート・プリントの点検などを行い、総合的に評価する。			
	思考・判断	定期考査を通して、地理的事項の説明やその事象に至る過程を説明させ、それを評価する。			
	技能	授業中の学習プリントの作成状況や発表内容、さらに長期休業中の課題等で表現力を評価する。			
	知識・理解	授業中の発表内容や、定期考査で基本的事項の理解を評価する。			

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○学習プリント提出 (授業中の取り組みや家庭での復習状況) ○授業態度 (まじめな態度、発表内容) ○課題提出 (ワーク作業や長期休業中の課題など) ○定期考査 (考査範囲の適切かつ計画的な学習成果)
------	---

数 学

科目名	単位数	学 科	学 年
数学Ⅱ・数学B	4・2単位	普通科	2 年

教科書	新編数学Ⅱ (数研出版) 改訂版 新編数学B (数研出版)	副教材	改訂版 クリアー数学Ⅱ+B (数研出版)
-----	----------------------------------	-----	----------------------

科目の目標	各単元について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	数学Ⅱ 第2章 複素数と方程式 複素数と2次方程式の解 高次方程式 第3章 図形と方程式 点と直線 円 軌跡と領域 数学B 第1章 平面上のベクトル ベクトルとその演算 ベクトルと平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 複素数の四則計算を学ぶ。 因数定理を用いて高次方程式が解けるようにする。 直線や円の基本的な平面図形の性質や関係を学ぶ。
2 学期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 三角関数 加法定理 第5章 指数関数と対数関数 指数関数 対数関数 数学B 第2章 空間のベクトル 第3章 数列 等差数列と等比数列 いろいろな数列	<ul style="list-style-type: none"> 角の概念を一般角まで拡張して学ぶ。 ベクトルを用いて図形の性質を考察する。 各数列の一般項と和の公式を学ぶ。
3 学期	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法 数学B 第3章 数列 数学的帰納法	<ul style="list-style-type: none"> 3次関数のグラフをかけるようにする。また、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求められるようにする。
学習のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 複素数を学習するときは、図形的な意味も含めて理解していきましょう。 高次方程式は、数学Ⅰの因数分解と2次方程式の復習をしてから学習しましょう。 ベクトルは、平面ベクトルが基本となります。空間を学ぶ前に、しっかりと平面を解けるようにしておきましょう。 図形と方程式では、図形を丁寧にかくようにすると理解しやすくなります。 微分・積分では、微分係数の意味をよく理解してから計算に入りましょう。 	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容の評価
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力の評価
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解の評価

定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	---

数 学

科目名	単位数	学科	学年
数学Ⅱ	3単位	普通科	2年

教科書	新編数学Ⅱ (数研出版)	副教材	基本と演習テーマ数学Ⅱ (数研出版)
-----	--------------	-----	--------------------

科目の目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第2章 複素数と方程式 複素数と2次方程式の解 高次方程式 第3章 図形と方程式 点と直線 円	・数の概念の範囲を広げ、方程式を解く。 ・図形と方程式の関係を用いてそれぞれの問題を解く。
2 学 期	第3章 図形と方程式 円 軌跡と領域 第4章 三角関数 三角関数	・ここからは、n次関数以外の関数を学ぶ。
3 学 期	第4章 三角関数 加法定理	・さまざまな公式を用いて今まで求められなかった角の三角関数の値を求める。
学 習 の ポ イ ン ト	1 第2章は、数学Ⅰで学習した展開の公式が必要となります。しっかり復習しておきましょう。 2 第3章は、図形と方程式・不等式の関係について学びます。図形を正確にかいたり、イメージしたりすることが重要になります。 3 第4章は、数学Ⅰで学習した三角比の内容が必要となります。公式や定理の確認をしておきましょう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価			
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容を評価			
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力を評価			
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解を評価			

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	---

数 学

科目名	単位数	学科	学年
数学B	3単位	普通科	2年

教科書	新編数学B (数研出版)	副教材	基本と演習テーマ数学B (数研出版)
-----	--------------	-----	--------------------

科目の目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 平面上のベクトル ベクトルとその演算 ベクトルと平面図形	・ベクトルの基本を学習し、それを用いて図形などの問題に応用する。
2 学 期	第2章 空間のベクトル 第3章 数列 等差数列と等比数列 いろいろな数列	・規則的に並んでいる数について学ぶ。
3 学 期	第3章 数列 数学的帰納法	
学 習 の ポ イ ン ト	1 第1章、第2章はベクトルを用いて図形の問題を解くことが多くあります。問題を理解し、正しく図形をかけるようになりましょう。また、平面のベクトルを理解しないと、空間のベクトルはできません。第1章でベクトルの基本をしっかりと理解しておくことが重要です。 2 第3章では新しい公式が多く出てきます。どの問題とどの公式が対応しているかを確認しながら学習を進めましょう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況进行评估				
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容进行评估				
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力进行评估				
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解进行评估				

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	---

理 科

科目名	単位数	学 科	学 年
物理	2単位	普通科 ・ 1A類型	2 年

教科書	改訂版 物理 (数研出版)	副教材	リードα物理基礎・ 物理
-----	---------------	-----	--------------

科目の目標	○ 物理学的に探究する能力と態度を身に付け、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体	・平面運動を理解する ・剛体の扱いを理解する。
2 学期	第3章 運動量の保存 第4章 円運動と万有引力 第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化	・円運動の仕組みと万有引力について理解する。 ・気体の分子運動論を理解する。
3 学期	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光	・ホイヘンスの原理を理解する。 ・ドップラー効果を理解する。
学習のポイント	○ 物理では考えることが最も大切です。何事も突き詰めて考える態度で臨みましょう。 ○ 実験・観察は物理に限らず理科の基本です。なぜそういう実験をするのか、結果はどうなるのか、自分でしっかり考えながら積極的に取り組みましょう。 ○ 公式や法則は暗記するのではなく、応用する力を持つことが必要です。教科書の問題や与えられた問題集は自分から進んで取り組みましょう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	物理に興味を持ち、物理の内容の理解に努めているか。
	思考・判断・表現	正しい科学的考え方のもとに現象理解が出来ているか
	技能	物理の基礎知識から物理の現象を理解できるか。
	知識・理解	物理の計算を理化し、各場面で応用できるか。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 定期考査 (評価の中心) ○ ノート提出 (整理状況及び工夫の確認) ○ 授業態度 (教科に対して真摯で積極的か。) ○ 課題提出 (週末課題及び長期休業中の課題)
------	---

理 科

科目名	単位数	学科	学年
化学基礎	2単位	普通科	2年

教科書	化学基礎 (啓林館)	副教材	リードα 化学基礎・化学 (数研出版)
-----	------------	-----	---------------------

科目の目標	自然の事物・現象に対する興味・関心を高め、科学的に現象理解に取り組む能力と態度を育てると共に、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1部 化学人間生活 第1章 化学と私たちの生活 第2章 物質の状態 第2部 物質の構成 第1章 物質の構成粒子 第2章 化学結合 第3部 物質の変化 第1章 物質と化学式 第2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> ・化学に関する関心を高める。 ・物質の構成方法について知る。 ・質量、体積、粒子数の関係を知る。 ・酸塩基の原理と反応を知る。
2 学 期	第3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元の原理と反応を知る。
学 習 の ポ イ ン ト	化学は身の回りにある物質についての学問です。まず、どのような物質がどのような性質を持っているかを知らねばなりません。そのためには身の回りの物質が持つ様々な性質に興味を持つことが大切です。また、実験観察の結果から多くの法則を理解し学ぶこととなりますから、筋道立てて物事を考える力が必要となります。現象理解、実験手順の読解という点で、国語力が必要となります。普段から論理的な文章を読んだり、書いたりすることも化学の学習には必要となります。	
備 考	この科目は10月までにまとめて学習します。	

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	化学に興味を持ち、学んだことを日常生活の物質や現象に結び付け考えようとしているか。				
	思考・判断・表現	学習したことを活用し新しいことを考え、自分の言葉で表現することができるか。				
	技能	実験の内容を理解し、主体的に参加できているか。				
	知識・理解	用語や現象等を正しく理解できているか。				
定期 実施 予定	1学期 中間	1学期 末	2学期 中間	2学期 末	学年 末	
○	○	○				
評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (板書を写し、まとめられているか) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表ができているか) ○実験 (意欲的な取組、実験結果の考察ができているか)					

理 科

科目名	単位数	学科	学年
化学基礎	3単位	普通科（IB類型）	2年

教科書	化学基礎 改訂版(啓林館)	副教材	ゼミノート化学基礎
-----	---------------	-----	-----------

科目の目標	自然の事物・現象に対する興味・関心を高め、科学的に現象理解に取り組む能力と態度を育てると共に、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	序章 化学と人間生活 第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 化学結合	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生活と化学の関わりについて理解する。 原子の構造・性質について理解する。
2 学 期	第2部 物質の変化 第1章 物質質量と化学反応式 第2章 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> モル計算に慣れる。 化学式及び化学反応式を理解し、使えるようにする。 酸・塩基を理解する。
3 学 期	第3章 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸化・還元を理解する。
学習のポイント	化学は身の回りにある物質についての学問です。まず、どのような物質がどのような性質を持っているかを知らねばなりません。そのためには身の回りの物質が持つ様々な性質に興味を持つことが大切です。また、実験観察の結果から多くの法則を理解し学ぶこととなりますから、筋道立てて物事を考える力が必要となります。現象理解、実験手順の読解という点で、国語力が必要となります。普段から論理的な文章を読んだり書いたりすることも化学の学習には必要となります。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	化学に興味を持ち、化学的概念の習得に努めているか。				
	思考・判断・表現	正しい科学的概念をもとに考察・計算が出来ているか。				
	技能	原子の構造や仕組み・各種法則を理解し、応用できるか。				
	知識・理解	化学の用語・計算方法を覚え、問題解決ができるか。				
定期考査実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 定期考査（評価の中心） ○ ノート提出（整理状況及び工夫の確認） ○ 授業態度（教科に対して真摯で積極的か。） ○ 課題提出（週末課題及び長期休業中の課題）					

理 科

科目名	単位数	学科	学年
化学	2単位	普通科	2年

教科書	化学(数研出版)	副教材	リードα化学基礎・化学(数研出版)
-----	----------	-----	-------------------

科目の目標	自然の事物・現象に対する興味・関心を高め、科学的に現象理解に取り組む能力と態度を育てると共に、基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
2学期	第1部 物質の状態と平衡 第1章 物質の状態変化 第2章 気体の性質 第3章 固体の構造 第4章 溶液の性質	・物質の各状態における性質への理解を深める。 ・各状態における現象の法則を知る。
3学期	第2部 物質の変化と平衡 第1章 化学反応と熱・光エネルギー 第2章 化学反応と電気エネルギー 第3章 反応速度 第4章 化学平衡	・エネルギーや粒子の移動における物質の変化を知る。
学習のポイント	化学は、化学基礎の学習からの発展になります。2学期までに学習した化学基礎の内容をしっかりと身につけていなければ、授業理解が難しくなります。物質質量及び化学反応(酸・塩基と酸化還元)についてよく復習をしておきましょう。また、「平衡」の概念は科学全般に通じるものなので、しっかりと理解につとめましょう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	化学に興味を持ち、学んだことを日常生活の物質や現象に結び付け考えようとしているか。				
	思考・判断・表現	学習したことを活用し新しいことを考え、自分の言葉で表現することができるか。				
	技能	実験の内容を理解し、主体的に参加できているか。				
	知識・理解	用語や現象等を正しく理解できているか。				
定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出(板書を写し、まとめられているか) ○授業態度(まじめな態度、積極的な発表ができているか) ○実験(意欲的な取組、実験結果の考察ができているか)					

理科

科目名	単位数	学科	学年
生物	2単位	普通科ⅠA型	2年

教科書	生物 (数研出版)	副教材	リードα生物基礎・生物
-----	-----------	-----	-------------

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、自分のからだや自分の周りの環境について理解し、問題を意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1学期	第1章 細胞と分子 生物の構成、タンパク質、酵素のはたらき、細胞の構造 第2章 代謝 細胞の活動とタンパク質、代謝とエネルギー	・細胞の構造を知る。 ・タンパク質の役割と代謝について理解する。
2学期	呼吸と発酵、光合成、窒素同化 第3章 遺伝情報の発現 DNAの構造と複製、遺伝情報の発現、遺伝子の発現調節、バイオテクノロジー	・生物体内における代謝を知る。 ・遺伝情報の発現と応用の仕方を知る。
3学期	第4章 生殖と発生 遺伝子と染色体、減数分裂と遺伝情報の分配、遺伝子の多様な組み合わせ、動物の配偶子形成と受精	・生殖と発生について理解し、受精について知る。
学習のポイント	1 からだを構成する細胞や、発生の様子を学び、細胞が担う役割を理解しよう。 2 体内環境を維持するしくみを理解し、生物のからだの成り立ちや現象を理解しよう。 3 言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 4 表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	生物に興味を持ち、内容の理解に努め積極的に発言しているか。
	思考・判断・表現	科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	技能	顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行い、実験内容を理解することができるか。
	知識・理解	生物の内容を理解し、正しい知識で生命現象を説明することができるか。

定期考査 実施予定	1学期中間 ○	1学期末 ○	2学期中間 ○	2学期末 ○	学年末 ○
--------------	------------	-----------	------------	-----------	----------

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度) ○ 小テスト (確認テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	---

理 科

科目名	単位数	学科	学年
地学基礎	3単位	普通科	2年

教科書	地学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート地学基礎 (第一学習社)
-----	--------------	-----	---------------------

科目の目標	地震や火山・天気といった身近な自然現象について学習させる。それらの事柄に普段から興味・関心を示す態度を持たせ、実験や作業学習を通して科学的に探求し、調べたことを表現する能力を身に付けさせると共に生活の中で何が重要かを判断し、自ら考え行動する態度をもたせる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1学期	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中心 第2章 活動する地球 第1章 地球の姿	・宇宙の構造と進化について理解する。 ・地球の姿、構造について理解する。
2学期	第2章 火山活動と地震 第3部 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷	・大地の動きを理解する。 ・化石を通して地球の変遷と生物の進化を学ぶ。
3学期	第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 太陽と海洋の運動 第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	・気象現象について理解する。 ・今後の地球環境について考え、どう行動すればいいかを考える。
学習のポイント	日本では、台風・地震・火山など、様々な気象災害に見舞われることがあります。これらはすべて地学の中で勉強するものばかりです。将来、自分が災害にあっても適切な行動がとれるように、普段から地球上で起こる出来事に深く関心を持つようにしましょう。また、地球そのものに対しても、大切さや環境などへの配慮など、将来にわたって大切なことばかりです。授業に集中して、しっかり学習に取り組みましょう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	地学に興味を持ち、地学の内容の理解に努めているか。				
	思考・判断・表現	正しい科学的考え方のもとに現象理解が出来ているか。				
	技能	物理や化学の知識から地学の現象を理解できるか。				
	知識・理解	地学の用語と内容を覚え、各種現象に応用できるか。				
定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末	
	○	○	○	○	○	
評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 定期考査 (評価の中心) ○ ノート提出 (整理状況及び工夫の確認) ○ 授業態度 (教科に対して真摯で積極的か。) ○ 課題提出 (週末課題及び長期休業中の課題)					

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
体育	2単位	普通科	2年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	イラストでみる最新スポーツルール (大修館)
-----	----------------------	-----	------------------------

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、健康・安全を確保して、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	体づくり運動 (通年) 集団行動 新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (ソフトボール) 【女子】 (バレーボール) 体育理論 (運動やスポーツの技術と技能)	・ 自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立てる。 ・ ペースの変化に対応するなどして走る。
2 学期	球技Ⅱ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (サッカー・卓球) 【女子】 (バスケットボール・テニス) 陸上競技 [中・長距離走] 校内マラソン大会 【男子】 8km 【女子】 4km 体育理論 (運動やスポーツの技能の上達過程) (運動やスポーツの技能と体力の関係)	・ 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
3 学期	球技Ⅲ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (バスケットボール・サッカー・卓球) 【女子】 (バレーボール・バドミントン・テニス) 体育理論 (運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方)	・ 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学習のポイント	1 自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 2 集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。(5分前行動) 3 互いに協力して自己責任を果たそう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしている。公正、協力、責任などの態度を身に付けようとしている。健康・安全に留意して運動をしようとしている。	
	思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。	
	技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。自己の体力や生活に応じた体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。	
	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	出席状況、授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○ 出席状況、授業態度・意欲 (授業の参加状況、意欲的でまじめな態度) ○ 運動の技能 (各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度) ○ 体育理論の理解度 (理解度の確認テスト)
------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
保健	1単位	普通科	2年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	
-----	----------------------	-----	--

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	2単元 生涯を通じる健康 思春期と健康 性への関心・欲求と性行動 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりについて理解を深める。
2 学期	2単元 生涯を通じる健康 医薬品とその活用 医療サービスとその活用 保健サービスとその活用 さまざまな保健活動や対策 3単元 社会生活と健康 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境汚染を防ぐ取り組み	・保健・医療制度や機関の適切な活用、医薬品の正しい使用方法を理解する。 ・環境汚染の防止及び改善策の必要性を理解する。
3 学期	3単元 社会生活と健康 ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全を守る活動 働くことと健康 働く人の健康づくり	・環境と食品の安全性、労働災害防止のための健康管理や安全管理について理解する。
学習のポイント	1 心身の健康課題や健康に対する考え方の変化に対応するため、新聞・ニュース等に関心を持ちよく見よう。 2 教科書・ノートは忘れず持参し、板書等はノートに必ず取ろう。 3 提出物は期限を守り、確実に提出しよう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	思考・判断・表現	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。
	技能	
	知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
		○		○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○課題・レポート提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
音楽I	1単位	普通科	2年

教科書	音楽I Tutti改訂版(教育出版)	副教材	なし
-----	--------------------	-----	----

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	歌唱 ハナミズキ、旅立ちの時、楓 器楽 ギターアンサンブル、夢の中へ、チェリー 発表会	・積極的に歌い、イメージを表現する。 ・基本的な奏法を学び、アンサンブルの楽しさを知る。
2 学 期	鑑賞 ロマン派の音楽(シューベルト、ショパン、リストなど) 歌唱 クラスの合唱曲 器楽 篠笛 発表会	・クラシック音楽に触れ、曲の特徴を知る。 ・クラスで協力して一つの作品を仕上げる。 ・日本の楽器に挑戦する。
3 学 期	鑑賞 ロマン派の音楽(ブラームス、チャイコフスキー、プッチーニ) 創作 カノンコードを使った創作 器楽 リコーダーアンサンブル	・それぞれの特徴について知る。 ・積極的に創作する。 ・アンサンブルの楽しさを知る。
学 習 の ポ イ ン ト	1 基本的な楽譜の読み方や書き方、演奏に対して、しっかり学び、できることを増やそう。 2 すべての領域において主体性、積極性を持って活動しよう。 3 表現する楽しさや合わせる楽しさを感じ、音楽的な視野を広げよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に興味・関心を持つとともに、意欲的に活動しようとしているか。
	思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫ができているか。
	技能	自己解釈やイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができているか。
	知識・理解	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞等できているか。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	授業内の小テスト(筆記)、実技テスト、ノート・ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ファイル(プリントの確認) ○ ノート(小テストの訂正など) ○ 確認テスト(各学期末に授業内で実施) ○ 課題提出(長期休業中の課題) ○ 授業態度(まじめな態度、積極性、発表会、練習態度)
------	---

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
美術I	1単位	普通科	2年

教科書	美術1 (光村図書)	副教材	
-----	------------	-----	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	絵画 基礎、等角投影図法 鑑賞 ダ・ヴィンチ	・技法を習得し、表現する。 ・イメージを膨らませ、形にする。
2 学 期	デザイン 色彩構成 (シエル構造を使って)	・色彩の要素を学び、デザインする。 ・着彩の仕方を学び表現する。
3 学 期	彫塑 動物を表現する 鑑賞 舟越桂	・道具の使い方を学ぶ。 ・立体表現のおもしろさに気づく。
学 習 の ポ イ ン ト	1 様々な技法を習得し、思い通りに表現できるようにしよう。 2 自分の考えているイメージを形にしよう。 3 様々な作品のよさを発見し言葉にして伝えよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	技能	技能を習得し、表現することができる。
	知識・理解	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評 価 方 法	作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業プリントの提出 (授業内容の理解の確認) ○授業態度 (真面目な態度、積極的な発表など) ○課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○鑑賞プリントの提出
---------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
コミュニケーション英語II	4単位	普通科	2年

教科書	NEW FLAG Communication English II（東京書籍）	副教材	Word Navi 3000
-----	---	-----	----------------

科目の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。また、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	Chapter 1 Sakura Michi さくら道ネイチャーランと佐藤良二 Chapter 2 Learning English 英語を話せるようになるコツ Chapter 3 Interview with Rosa Parks アメリカの公民権運動とローザ・パークスのメッセージ	受動態、関係詞、現在完了、仮定法、疑問詞+to do 等
2 学期	Chapter 4 Communication breakdown コミュニケーションで大切なこと Chapter 5 Rise Again, Motala! 地雷の危険性と除去の困難 Chapter 6 A Delicious Japanese Culture: Bento 弁当の起源と変遷 Chapter 7 Palm Oil from Diamond Island ダイヤモンド島の問題と人々の多様な考え方	未来進行形、関係代名詞継続用法、助動詞の完了形、仮定法、未来進行形、無生物主語、動名詞の意味上の主語
3 学期	Chapter 8 I Made It! 坂本 達の夢 Chapter 9 If I Hadn't Met ... 人との出会い Chapter 10 Silk Scarf	大過去、原形不定詞、前置詞+関係代名詞、関係副詞継続用法、付帯状況、未来完了、接続詞
学習のポイント	1 教科書の内容が理解できる。 2 「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現できる。 3 辞書やノートを繰り返し活用して、英語で考えることができる。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	
	外国語表現の能力	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。	
	外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	
	言語や文化についての知識・理解	背景にある文化などを理解している。	

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ 小テスト、課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
------	--

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
コミュニケーション英語II	3単位	普通科	2年

教科書	Grove English Communication II（文英堂）	副教材	Word Navi 3000（啓林館）
-----	-------------------------------------	-----	---------------------

科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1学期	Lesson 1 Mt. Fuji : The Pride of Japan 富士山を守るために、私たちに何ができるか考える。 Lesson 2 Yes, I Do Climb ロッククライマー、白石阿島さんの体験談を読む。	5文型 完了形
2学期	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet ニュージーランドの海岸に迷い込んだペンギンについて読む。 Lesson 4 Warka Water 清潔な飲料水を手に入れることが困難な地域について学ぶ。	助動詞、受け身 未来進行形
3学期	Lesson 5 A Hidden History of Tomatoes トマトがどのようにして世界中に伝わったかを読む。	受け身の発展
学習のポイント	1 教科書の内容が理解できる。 2 「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現できる。 3 辞書やノートを繰り返し活用して、英語で考えることができる。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
	外国語表現の能力	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。
	外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語や文化についての知識・理解	背景にある文化などを理解している。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○ 小テスト
------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
英語表現Ⅱ	2単位	普通科	2年

教科書	Vision Quest English Expression Ⅱ (増進堂)	副教材	LEARNERS' ラーナーズ高校英語 (数研出版)
-----	--	-----	----------------------------

科目の目標	「話す」「書く」の活動を中心に、情報や考えなどを、論理の展開や表現の方法を工夫して伝える能力の向上を図る。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	Lesson 1 文の要素 Lesson 2 時制 Lesson 3 過去完了と完了形 Lesson 4 仮定法 Lesson 5 名詞と数 Lesson 6 受身	<ul style="list-style-type: none"> モデル文の内容を読んで、理解する。 各種文法を正しく理解し、運用する。 既習文法を用いて様々な内容についてまとまった英語の文章を書く。
2 学 期	Lesson 7 分詞 Lesson 8 比較 Lesson 9 動名詞、SVOC Lesson 10 関係詞 that の用法 Lesson 11 否定 不定詞の応用表現 Lesson 12 分詞構文 譲歩	<ul style="list-style-type: none"> モデル文の内容を読んで、理解する。 各種文法を正しく理解し、運用する。 既習文法を用いて様々な内容についてまとまった英語の文章を書く。
3 学 期	Lesson 13 無生物主語 it の用法 Lesson 14 助動詞 名詞構文 Lesson 15 修辭的疑問 Lesson 16 列挙 Lesson 17 Cause & effect	<ul style="list-style-type: none"> モデル文の内容を読んで、理解する。 各種文法を正しく理解し、運用する。 既習文法を用いて様々な内容についてまとまった英語の文章を書く。
学 習 の ポ イ ン ト	<ol style="list-style-type: none"> 基礎・基本の表現力の定着を図るため、必ず予習をして授業に臨み、学習に集中しよう。 辞書を活用しながら、自分の考えや意見を英語で作成し、意欲的に発表しよう。 ノートや課題、プリントなどは必ず期限内に提出しよう。 日々の小テストは、家庭でしっかり勉強をして臨もう。 	
備 考		

評 価 の 観 点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業、ペアワーク、グループワーク等に積極的に取り組んでいる。英作文の発表等に意欲的に取り組んでいる。
	外国語表現の能力	授業中の発表、英作文プリント、定期考査において、適切に英語で表現することができる。
	外国語理解の能力	質問・依頼・指示に適切に応じることができる。
	言語や文化についての知識・理解	授業中の活動や定期考査等において、語句や文構造・文法事項、発音などがしっかりと身に付いている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表・ペアワーク・グループワーク） ○ 小テスト（英単語テスト・スクランブルテストなど） ○ 課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）
---------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
英語表現Ⅱ	2単位	普通科	2年

教科書	SCREENPLAY English Expressions Ⅱ (フォーイン・スクリーンプレイ事業部)	副教材	
-----	---	-----	--

科目の目標	英文法を学びながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の仕方を工夫しながら伝える能力を伸ばす。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	UNIT 1 George, This Is Stuart (紹介する/知り合う) UNIT 2 You Better Get Moving (助言する/勧誘・招待する) Presentation プレゼンテーションの準備と発表 UNIT 3 What Can I Get You? (注文を承る・注文する)	文の構造 時制 助動詞
2 学期	UNIT 4 What Makes You Think So? (意見を求める・述べる) Debate ディベートの準備と実施 UNIT 5 Here's What You're Gonna Do (説明を求める・説明する) UNIT 6 Look at Me (指示する/依頼する) Discussion ディスカッションのやり方と実施	不定詞 動名詞 分詞
3 学期	UNIT 7 I Think You Should Go with the Red (提案する/再確認する) UNIT 8 How Many Would You Say? (質問する/興味を示す)	受動態 文の種類
学習の ポイント	1 各レッスンの学習項目について感想や意見を英語で表現することができる。 2 「学習のねらい」の文法を使って、身の回りのことを英語で表現することができる。 3 プレゼンテーションやディベート、ディスカッションを通して、英語学習の楽しさを学ぶ。	
備考		

評価の 観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。			
	外国語表現の能力	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。			
	外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。			
	言語や文化についての 知識・理解	背景にある文化などを理解している。			

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト、発表の内容と態度
------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
英語会話	2単位	普通科	2年

教科書	Hello, there! English Conversation（東京書籍）	副教材	ラーナーズ高校英語（数研出版）
-----	--	-----	-----------------

科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとし、身近な話題について会話することができる。
-------	--

	学習項目	学習のねらい
1 学期	Unit 1 Lesson 1 Nice to Meet You Lesson 2 Hello, Friends! Sakura's Adventure Episode 1 At Immigration	自己紹介、聞き返す表現 あいさつ、意味を尋ねる 許可を求める リストアップする
2 学期	Unit 2 Lesson 3 My Favorite Music Lesson 4 What Are You Crazy about? Sakura's Adventure Episode 2 How about Going Shopping?	意見を言う 興味・関心を伝える 誘う・誘いを断る
3 学期	Unit 3 Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner Lesson 6 Are You All Right? Sakura's Adventure Episode 3 At a Restaurant	説明する 同情する 事情を理解する 助言する
学習のポイント	1 英語で会話しようとする積極的な態度を示すことができる。 2 習った表現を使えるように努力する。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。
	外国語表現の能力	簡単な英語で情報や考えなどを相手に伝えている。
	外国語理解の能力	相手の話す英語やCDを聞き、情報や考えなどを的確に理解している。
	言語や文化についての知識・理解	背景にある文化などを理解している。

定期考査 実施予定	1学期中間 ○	1学期末 ○	2学期中間 ○	2学期末 ○	学年末 ○
--------------	------------	-----------	------------	-----------	----------

評価方法	定期考査、授業態度、パフォーマンステスト等を総合的に評価する。 ○ 授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○ パフォーマンステスト、日常の英語によるやり取り ○ 定期考査、小テスト（書き取り、聞き取り）
------	---

家 庭

科目名	単位数	学 科	学 年
家庭基礎	2単位	普通科	2年

教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材	家庭科ノート・調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)
-----	-------------------------	-----	-------------------------------------

科目の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 自分らしい人生をつくる 第3章 高齢社会を生きる 第4章 共に生き、共に支える 第6章 衣生活をつくる ホームプロジェクトの説明	・基礎的・基本的な知識と技術を身に付けて、実生活に役立てる。
2 学 期	ホームプロジェクト(夏休み) 第2章 子どもと共に育つ 第8章 経済生活を営む 第7章 住生活をつくる 第5章 食生活をつくる	・身に付けた知識や技術をもとに、実生活の中での課題を解決する。 ・生涯を見通した食生活を営めるようにする。
3 学 期	第5章 食生活をつくる (実習) 調理実習 第9章 生活を設計する	・調理の基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。 ・主体的に生活を設計できるようにする。
学 習 の ポ イ ン ト	1 将来の生活設計を考え、今の家庭生活に興味を持とう。 2 家族の一員としての役割を果たすために、家族との会話を大切にしよう。 3 基礎的・基本的な知識と技術を定着させるために、積極的に家事を手伝おう。 4 実践力を養うために検定やホームプロジェクト、家庭クラブ活動に参加しよう。	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	・授業や実習に関心を持ち積極的に学ぶとともに、各分野において、意欲的に技術習得に取り組んでいるかを評価する。
	思考・判断・表現	・学習したことももとに、家庭や地域の生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深められているかを評価する。
	技能	・各分野において必要な基礎的・基本的な技術を身に付けているかを評価する。
	知識・理解	・家庭生活の意義や役割を理解し、各分野において必要な基礎的・基本的な知識を身に付けているかを評価する。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出(整理状況の確認) ○ 授業態度(まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト(单元ごとの確認テストなど) ○ 課題提出(日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	--

商 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
ビジネス基礎	2単位	普通科・Ⅱ類型	2 年

教 科 書	新ビジネス基礎 (暁出版)	副 教 材	全商珠算・電卓実務検定模擬問題集2級 (暁出版) 全商英語検定試験問題集3級 (実教出版) 全商珠算・電卓実務検定模擬問題集1級 (暁出版)
-------	---------------	-------	--

科目の目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 商業の学習ガイダンス 第2章 ビジネスと売買取引 全商珠算・電卓実務検定	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の学習内容を知り、関連する職業や卒業後の進路について考える。 ・電卓の機能と操作について学習し、売買に関する計算についても理解する。
2 学 期	第3章 経済と流通の基礎 全商珠算・電卓実務検定 全商英語検定	<ul style="list-style-type: none"> ・経済活動における流通の意義や役割について理解する。 ・資格取得を目指す。
3 学 期	第4章 企業活動の基礎 第5章 ビジネスとコミュニケーション 全商商業経済検定	<ul style="list-style-type: none"> ・企業形態と経営組織、税などの企業活動の基礎的な知識を身に付ける。 ・ビジネスに対する心構えやルールとマナーについて理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	<ol style="list-style-type: none"> 1 商業の様々な知識を学ぶことで進路選択の幅を広げよう。 2 電卓の機能を使いこなし、正確にビジネスに関する計算ができるようになる。 3 ビジネスマナーやルール、コミュニケーションの方法などを学び、良好な人間関係を構築できるようにしよう。 	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	ビジネスについて関心を持ち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身につけている。
	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
	技能	ビジネスに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	ビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 <input type="checkbox"/> 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) <input type="checkbox"/> 課題提出 (ワークブック、問題集など) <input type="checkbox"/> 資格取得
---------	--

商 業

科目名	単位数	学 科	学 年
簿記	3単位	普通科・Ⅱ類型	2 年

教科書	簿記 新訂版 (東京法令出版)	副教材	完全段階式 標準検定簿記問題集 全商3級,2級 (とうほう)
-----	-----------------	-----	--------------------------------

科目の目標	簿記に関する知識と技術を習得させ、その基本的な仕組みについて理解させるとともに、適正な会計処理を行う能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第Ⅰ編 簿記の基本 第1章 企業の簿記 第2章 資産・負債・純資産 第3章 収益・費用 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と勘定への記入 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 第8章 決算 第Ⅱ編 各種取引の処理 第1章 現金・預金の記帳 第2章 商品売買の記帳 第3章 掛取引の記帳 第4章 手形取引の記帳 第5章 その他の債権債務の記帳 第6章 有価証券の記帳 第7章 固定資産の記帳 第8章 販売費及び一般管理費の記帳 第9章 個人企業の純資産 第10章 個人企業の税金の記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の概要、資産・負債・純資産・収益・費用の概念、貸借対照表・損益計算書の役割、簿記の一巡の手続き、仕組みを理解する。 ・各取引の処理を行うための知識と技術を理解する。
2 学 期	第Ⅲ編 決算 (1) 決算整理 (その1) 第Ⅳ編 会計帳簿 (1) 第1章 帳簿 第2章 3伝票制による記帳 検定演習 (3級) 校内簿記昇級テスト3級(9月) 第Ⅴ編 特殊な取引 第1章 特殊な商品売買の記帳 第2章 特殊な手形取引の記帳 第Ⅵ編 会計帳簿 (2) 第1章 特殊仕訳帳 第2章 5伝票制による記帳 第Ⅶ編 決算 (2) 決算整理 (2) 第Ⅷ編 支店会計 第1章 支店間の取引 第2章 支店財務諸表の合併 本支店の内部利益 株式会社会計 第1章 株式会社の設立・開業と株式の発行 第2章 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分 第3章 社債 第4章 株式会社の税務 進んだ決算 株式会社の財務諸表の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理の方法と財務諸表の作成、決算を行うために必要な知識と技術を習得する。 ・支店間の取引の処理や合併財務諸表等を作成する知識と技術を習得する。 ・会計帳簿の種類・伝票の利用・仕訳帳の分割などの記帳の合理的な会計処理についての知識や技術を習得する。
3 学 期		
学 習 の ポ ジ ト	1 全員2年次から学習する科目でスタートラインは同じです。授業の内容は、ワークブックを活用し反復練習することにより、記帳技術を身に付けましょう。 2 日々の課題や小テストを地道にこなし、1月の検定で2級取得を目指しましょう。 3 資格は進路選択の幅を広げるだけでなく、自分の自信にもつながります。	
備 考	簿記は、週あたり5時間で4月から11月まで延べ105時間実施	

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	簿記について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。
	思考・判断・表現	基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、表現する能力が身に付いているか。
	技能	簿記を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用しているか。
	知識・理解	簿記を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、簿記の意義や役割を理解しているか。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート・ワークブックの提出 ○ 授業態度 ○ 課題提出 (日々の課題及び長期休業中の課題)
------	---

商 業

科目名	単位数	学 科	学 年
原価計算	2単位	普通科・Ⅱ類型	2 年

教科書	原価計算 新訂版（東京法令出版）	副教材	完全段階式標準検定簿記問題集 原価計算（とうほう） 全商簿記実務検定模擬試験問題集 1級原価計算（実教出版）
-----	------------------	-----	---

科目の目標	製造業における原価計算及び会計処理に関する知識と技術を習得させ、原価の概念について理解させるとともに、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
2 学 期	第Ⅰ編 原価と原価計算 第1章 原価の概念と原価計算 第2章 製造業における簿記の特色としくみ 第Ⅱ編 原価の費目別計算 第1章 材料費の計算と記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・原価の概念、原価計算の目的、製造業における特色、原価計算の概要を理解する。 ・原価の費目別計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。
3 学 期	第2章 労務費の計算と記帳 第3章 経費の計算と記帳 第Ⅲ編 原価の部門別計算と製品別計算 第1章 個別原価計算 全商簿記実務検定試験2級（1月） 第2章 原価の部門別計算 第3章 総合原価計算 第Ⅳ編 製品の完成・販売と決算 第1章 製品の完成と販売 第2章 本社・工場会計 第3章 製造業の決算 第Ⅴ編 標準原価計算 第Ⅵ編 原価情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・個別原価計算・部門別原価計算・総合原価計算を取り扱い、原価の部門別計算と製品別計算を行うために必要な知識と技術を習得する。 ・製品の完成・販売と本社・興譲館の取引の記帳及び製造業の決算を取り扱い、製品の完成・販売に関する会計処理と決算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。 ・標準原価計算を行うための基礎的な知識と技術を習得する。 ・直接原価計算の有用性について理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 簿記とはまた違うので、新たな感覚で取り組もう。 2 予習よりも復習に重点をおいて、理解できるまで同じ問題を反復して解き、理解を深めよう。 3 3年の6月に1級（原価計算部門）の取得を目指そう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	原価計算について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいるか。提出された課題をきちんとこなしているか。
	思考・判断・表現	基礎的・基本的な知識と技術を活用して、適切に判断し、表現する能力が身に付いているか。
	技能	原価計算を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、その技術を適切に活用しているか。
	知識・理解	原価計算を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、原価計算の意義や役割を理解しているか。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	/	/	/	/	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度 ○ 課題提出 ○ 単元別確認小テスト、問題集の提出
------	--

商 業

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
情報処理	2単位	普通科	2 年

教 科 書	情報処理 新訂版 (東京法令出版)	副 教 材	全商情報処理検定模擬試験問題集3級(実教出版) 全商ビジネス文書実務検定試験問題集3級(東京法令出版) 能力に応じて上位級の問題集も使用
-------	----------------------	-------	---

科目の目標	ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させ、情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第4章 ビジネス文書の作成 第1章 ビジネスと情報 第5章 ビジネス情報の処理と分析 全商ビジネス文書実務検定	<ul style="list-style-type: none"> ・文章表現力や正しい日本語に関する知識を学ぶ。 ・ワープロソフトや表計算ソフトの基礎的な知識や技術を身に付ける。 ・資格取得を目指す。
2 学 期	第2章 情報通信ネットワーク 第3章 情報モラルとセキュリティ管理 第5章 ビジネス情報の処理と分析 全商ビジネス文書実務検定 第6章 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルとセキュリティ管理を学び、ネット被害に遭わないようにする。
3 学 期	〃 プレゼンテーション発表会 全商情報処理検定（1月）	<ul style="list-style-type: none"> ・伝わるプレゼンテーションの技法を身に付ける。 ・資格取得を目指す。
学 習 の ポ イ ン ト	<ol style="list-style-type: none"> 1 将来的に必要となるワープロソフトや表計算ソフトについての知識や技術を身に付けよう。 2 積極的に学び、わからないことは質問などを行い、その場で解決するようにしよう。 3 情報化社会の変化は著しいものです。社会の変化に即時に対応できる情報収集能力を身に付けよう。 	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	情報処理機器の活用について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。検定試験に積極的に挑戦したり、課題をきちんと提出している。
	思考・判断・表現	基礎的・基本的な知識と技術を活用して、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。
	技能	情報および情報技術を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
	知識・理解	情報および情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動に関する意義や役割を理解している。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 毎回の自己評価チェックシート（10分間計測速度の記録と授業の理解度の確認） ○ 授業態度（まじめな態度、わからないことを知ろうとする姿勢） ○ 実技（教科書や問題集における実技問題など） ○ 筆記（教科書や問題集における筆記問題など）
---------	--

総 合

科 目 名	単 位 数	学 科	学 年
社会人基礎	1単位	普通科・Ⅱ類型	2年

教科書	各種プリント (校内作成)	副教材	高校生の一般常識問題集 (実教出版)
-----	---------------	-----	--------------------

科目の目標	<p>1 将来、社会人・職業人として、適切な社会生活・職業生活を送るために、必要な能力・態度の基礎基本について理解するとともに、実践できる能力や態度、望ましい勤労観、就労観を養う。</p> <p>2 時代や環境が変化しても、人と人が出会い、関わっていくときには基本的なマナーが常に求められていることを理解し、実践できる能力や態度を養う。</p>
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 一般常識問題及びプリント (1) 数学 (2) 英語 (3) 国語	・社会人として必要な基礎的な学力や知識を身に付ける。
2 学 期	2 一般常識問題及びプリント (1) 数学 (2) 英語 (3) 国語	・社会人として必要な基礎的な学力や知識を身に付ける。
3 学 期	3 一般常識問題及びプリント (1) 数学 (2) 英語 (3) 国語	・社会人として必要な基礎的な学力や知識を身に付ける。
学 習 の ポ イ ン ト	<p>1 社会人として必要な学力や知識とは何か、それらがどういう場面で必要になるかを考えながら、学習しましょう。</p> <p>2 自分の苦手分野を把握し、克服するための目標を立てながら、学習しましょう。</p> <p>3 基礎・基本は、反復練習によって身に付くことを体感しましょう。</p>	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、平常の課題などを総合的に評価する。			
	思考・判断・表現	自ら考察を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用できているか、ノートやワークブックの内容等を評価する。			
	技能	習得した知識や技術を活用できているか等を総合的に評価する。			
	知識・理解	社会人として求められる基礎的な知識や考え方を理解しているかどうかを定期考査等で評価する。			

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定		○		○	○

評 価 方 法	<p>定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <p>○ 授業態度</p> <p>○ 小テスト</p> <p>○ 課題提出</p>
---------	---